
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年4月15日号

◎2009年3月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年3月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は小幅上昇

国家臨時備蓄買上政策により、2009年2月には下げ止まりが期待されたトウモロコシ価格は、3月になって上昇を始めたものの、前年同月に比べると低水準であった。国内生産地のトウモロコシの平均卸売価格は1トン当たり1,455円で、前月比3.3%高・前年同月比7.1%安となった。そのうち東北の生産地では1,415円、前月比5.3%高・前年同月比2.8%安となった。華北の黄淮地域（黄河及び淮河流域には含まれた地域）の生産地では1,473円、前月比3.3%高・前年同月比11.6%安となった。消費地における平均卸売価格は1,691円、前月比3%高・前年同月比10.7%安であった。

2 国際価格は小幅変動

国際原油価格の変動及び米国のトウモロコシ播種面積予測の下方修正などの要因が絡み合い、2009年3月のトウモロコシ価格の変動は小幅にとどまった。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり173ドル、前月比0.4%安・前年同月比30.2%安となった。シカゴ先物価格は154ドルで、前月比3.3%高・前年同月比33%安となった。ただし、月内の価格の動きは上昇傾向にあり、月末価格は月初に比べ8.6%高となった。

3 内外価格差は縮小

2009年3月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシのFOB価格を1トン当たり1,117元と換算すると、国内生産地におけるトウモロコシ卸売価格に比べ338元安かった。通関渡し価格(Duty Paid: CIF+関税等)は1,728元で、同時期の東北のトウモロコシの消費地国内港(広州黄埔港)到着卸売価格に比べて65元高かったものの、前月に比べその差は33元縮小した。

4 トウモロコシ輸出は大幅減

海関統計によると、2009年2月の中国のトウモロコシ輸出量は、前年同月比90.3%減の2,670トンとなった。同じく輸入は179.8%増の420トンであった。同年1~2月の累計輸出量は、95.7%減の2,696トン、同じく累計輸入量は45.8%増の523トンとなった。

5 世界のトウモロコシ需給は改善

国際穀物理事会(IGC)の2009年3月の報告によると、2008/09年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比0.6%減の7.82億トンと予測されている。消費量は0.1%増の7.73億トン、貿易量は21.8%減の7,900万トンと予測されている。また、在庫量は6.9%増の1.4億トンと予測され、これにより在庫消費比は、国連食糧農業機関(FAO)が安全水準としている17%を上回る18.1%と見積もられている。